

博 物 館

第1節 概要

(1) 公所開設

4月1日開設 館長1(非常勤)、副館長1・総務課長1、副主査1、主事2、学芸課長1、専門学芸員1、主任学芸員4、副主任学芸員5、学芸員9

(2) 開館

ア 開館式典

10月18日 招待出席者 328名

イ 記念講演会

10月19日 「日本の中の東北文化」講師 梅原 猛

ウ 歴史シンポジウム

10月20日 「日本の文化・東北の文化」講師 梅原 猛(東北文化の心)・高橋富雄(日本文化史上の会津)、永岡慶之助(会津の武士道)、永井路子(会津の仏教と仏像)、安西篤子(薩長と会津)。

(3) 運営協議会

ア 委員

学校教育 伊藤正男 県小学校長協会代表

小林四郎 県中学校長協会代表

大槻進 県高等学校長協会代表

社会教育 藁谷房一 公民館連絡協議会長

辺見榮之助 福島県文化センター館長

学識経験者 斎藤文昭 県議会議員

岡田茂弘 国立歴史民俗博物館教授

高瀬喜左衛門 県文化財保護審議会委員

太田美恵子 市町村教育委員連絡協議会会長

中川幸意 会津史談会長

イ 会議

第1回 昭和62年1月16日 第2会議室

・昭和61年度予算について外

第2回 昭和62年2月27日 仙台市博物館会議室

・県立博物館の展示と教育課程について

第2節 調査研究事業

(1) 三貫地貝塚出土品整理

ア 実測 土器50点 石器50点 骨角器70点

イ トレース 土器300点 骨角器70点 石器50点

ウ 採拓 土器300点

エ 撮影 土器・石器・骨角器700点

(2) 陸奥の古瓦調査

ア 調査 国見町徳丸廃寺・栃木県下野薬師寺・群馬県山王廃寺・同上植木廃寺・同金井廃寺・同寺井廃寺・同上野国分寺・茨城県新治廃寺・同結城廃寺・千葉県竜角寺・同上総大寺・東京都武蔵国分寺。

イ 整理 いわき市夏井廃寺出土瓦・相馬市黒木田遺跡出土瓦計7,000点

(3) 磯船による漁法技術の復元調査 浪江町

ア 予備調査 6月16・17日

浪江町請戸漁業協同組合に協力を依頼し、実演者を確定するとともに下記調査を実施した。

イ 漁具製作実演及びビデオ撮影 7月15・16日

ナエバチ・ヒラメカキ・タモ・スズキー一本釣竿・船霊様

ウ 伝馬船による伝統漁法の実演及びビデオ撮影 7月21・22日

・スズキー一本釣・ヒラメカキ・ハエナワ・ワカメカキ・ヒラメテンテンの実演を記録。

(4) 植物繊維採取技術と植物染料による染色技術の復元調査 昭和村・川俣町

ア 植物繊維 実演者の確定・協議 5月13日、風除け、麻の種まき及びビデオ撮影、5月17日、からむし移植・野焼き・施肥・風除垣づくり及びビデオ撮影 5月21日～23日、収穫・からむしはぎ・からむしひき及びビデオ撮影 8月4・5日、草うみ・糸つむぎ・織り及びビデオ撮影 62年2月26日。

イ 染色 実演者 川俣町山根正平氏 染色材料・実演場所の決定、6月30日 染色材料の採取・材料加工・染色実演及びビデオ撮影 7月9・10日

(5) 古墳測量調査

ア 目的 大型古墳模型製作の資料を得るため

イ 対象 堂の森古墳 浪江町大字北幾世橋字堂の森二子塚古墳 大玉村大字大山字小次郎内 灰塚山古墳 喜多方市慶徳町新宮字小山腰

ウ 方法 地上測量 トラバースによる平板測量

エ 縮尺 100分の1 コンター25cm

オ 期間 4月16日～7月1日

第3節 収集整理事業

1 収集展示委員会

館の収蔵資料・展示の方法・企画展の計画等について審議のため、収集展示委員会を2回、分科会を1回開催し、案件の承認・決定をみた。

ア 県立博物館収集展示委員会

氏名	勤務先	備考
岡田茂弘	国立歴史民俗博物館教授	委員長
岩崎敏夫	東北学院大学文学部講師	副委員長
上原昭一	東北大学文学部教授	委員
梅宮茂	福島県考古学会長	〃
大石直正	東北学院大学文学部教授	〃